

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

a. 企業間の連携（オープンイノベーション、M&A等の事業承継支援 等）

株式会社 SpinFlow では、生成 AI の活用やデジタル人材育成を軸とした「リスキリング講座」を提供することで、業界や企業規模を問わず多様な取引先企業と連携し、共創型の価値創出を推進しています。具体的には、生成 AI の導入支援において複数企業と共同で実証・運用を行うことで、企業間のオープンイノベーションを促進しています。また、GUGA（生成 AI 活用普及協会）のシニアパートナーとして、幅広い業種・業界の会員企業とのネットワークを活かし、スタートアップや中小企業の DX 推進を後押しする事業承継・育成のプラットフォームとしての機能も果たしています。

b. IT 実装支援（共通 EDI の構築、データの相互利用、IT 人材の育成支援、サイバーセキュリティ対策の助言・支援 等）

SpinFlow は、生成 AI リスキリング講座を通じて、中小企業・取引先企業の IT 人材の育成支援を積極的に行っています。講座では、ChatGPT 等を活用した業務効率化、資料作成、営業支援、ナレッジ共有の方法などを学べるコンテンツを提供しており、受講後は 20 時間以上の業務時間削減効果が確認されています。加えて、取引先企業が BCP やテレワーク環境を整備するうえで不可欠な、セキュアなデジタル業務環境の実現に向けて、AI の適切な利用方法やデータ利活用のノウハウ提供も行っており、サイバーセキュリティ意識の醸成やデータガバナンス強化にも寄与しています。将来的には、受講者間のデータ連携や、共通プラットフォームを通じた EDI 的な仕組み構築も視野に入れ、企業間での業務効率化・相互補完関係の深化を目指しています。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

②手形などの支払条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形等で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを60日以内とします。

③知的財産・ノウハウ

「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

④働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

2025年4月11日

株式会社SpinFlow

企業名

代表取締役 平嶋哲也

役職・氏名（代表権を有する者）

（備考）

- ・本宣言は、（公財）全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。